

1977～1978

西田 ガバナー 公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1977. 9. 15

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

## ロータリー綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成するにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拡めること。
2. 実業及び、専門職業の道徳的水準を高めること。  
あらゆる有用な職業は、尊重されるべきであると云う認識を深めること  
そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を  
品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び、社会生活に常に、  
奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と、専門職業人の世界的親交によって国際間  
の理解と親善と平和を推進すること。

## 1977～1978年度のターゲット

SERVE TO UNITE MANKIND

全人類を 結びつけるために奉仕せよ

この年度には、われわれが受けついでこの豊富な遺産を夢と力とをもって、さらに、豊かなものにしようではありませんか。

四分の三世紀に近い年月にわたって、深い関心を持ち、感激にあふれる人々は、ロータリーのモットー、"超我の奉仕"の意義の深さを全世界の人々に知らしめたのであります。

人間は誰でも、人格の尊厳と価値とを身に備えております。それ故、われわれが人類同胞に対する奉仕の理想に応えるにあたっては、われわれの思考と考え方・計画と活動をより豊かにし、発展拡大させようではありませんか。万人のために、健康と、尊厳と考え方の自由とを確保すべく行動しようではありませんか。

W. ジャック・デーデス

国際ロータリー会長

# 目 次

クラブ協議会のプログラム	2
役員並びに委員会名簿	3
会長あいさつ	4
幹事あいさつ	5
クラブ概況	6
クラブ奉仕委員会	7
会計報告	7
出席委員会	8
職業分類委員会	8
会員選考委員会	9
会員増強委員会	9
プログラム委員会	12
広報委員会	12
親睦委員会	13
ロータリー情報委員会	14
会報雑誌委員会	15
S. A. A	15
職業奉仕委員会	16
社会奉仕委員会	17
青少年奉仕委員会	18
国際奉仕委員会	19
ロータリー財団委員会	19

昭和52年度予算書(別表) 会員名簿(別冊)

次填,未充填職業分類一覧表(別冊) 委員会活動方針(別冊)

# クラブ協議会プログラム

1977. 9. 15

於 鶴 鳴 館

開 会 の 辞	副 会 長	藤 安 辰 造
ロータリーソング斉唱	奉仕の理想	
歓迎の辞並びにガバナー分区代理紹介	会 長	河 井 時 義
ガバナー挨拶	ガバナー	西 田 武 雄
会 員 紹 介		
( 食 事 )		
会長あいさつ	会 長	河 井 時 義
幹事あいさつ	幹 事	小 園 正 人
会 計 報 告	会 計	前 田 好 文
クラブ奉仕委員会	副 会 長	藤 安 辰 造
出席委員会	委 員 長	池 田 広
職業分類委員会	"	岡 山 栄
会員選考委員会	"	桜 美 義 明
会員増強委員会	"	徳 沢 紀 生
プログラム委員会	"	浜 田 馨
広報委員会	"	光 吉 正 昭
親睦委員会	"	近 藤 典 文
ロータリー情報委員会	"	下 野 隆 三
会報・雑誌委員会	"	川 田 恵 一
S. A. A	S. A. A	川 畑 正 美
職業奉仕委員会	委 員 長	山 下 静 雄
社会奉仕委員会	"	城 哲 男
青少年奉仕委員会	"	柿 市 高 重
国際奉仕委員会	"	木 治 屋 克 己
ロータリー財団委員会	"	池 田 穰
講 評	ガバナー	西 田 武 雄
閉 会 の 辞	幹 事	小 園 正 人

## 西 R・C 役員理事委員会名簿

(1977.7.~1978.6)

会 長 河 井 時 義  
(理事)

副 会 長 藤 安 辰 造  
(理事)

幹 事 小 園 正 人  
会 計 前 田 好 文

副 幹 事 三 角 桂 次 郎

S A A 川 畑 正 美

副 S A A 原 三 郎

出 席	池 田 広	○新原 剛・新福 栄熊・中村 善治・高妻 俊則
職 業 分 類	岡 山 栄	○若松宇治彦・中村 俊雄・佐伯 寿郎・鮫島志芽太
会 員 選 考	桜 美 義 明	○池口 恵観・田平 礼章・永井 利承・岩田 太一
会 員 増 強	徳 沢 紀 生	○牧田 健二・宇治野純章・久保田彦徳・吉留 益
プ ロ グ ラ ム	浜 田 馨	○二階堂正明・外西 寿彦・和田 吉人・松田 徳平
広 報	光 吉 正 昭	○岡元健一郎・岩元 正二・水濁 清治
親 睦	近 藤 典 文	○土橋 滋・川上鉄太郎・鮎川 六男・肥後 克郎 田原迫卓視・鹿海 武・藤 都喜七・安田 正治 山田 裕三・中村 一雄
ロータリー情報	下 野 隆 三	○福田 正臣・塘 一郎
会 報 ・ 雑 誌	川 田 恵 一	○高井 敏治・佐伯延次郎・岩元 基
職 業 奉 仕	山 下 静 雄	○平岡 禎吉・福田 敏之・岩男 秀彦・川村 洋
社 会 奉 仕	城 哲 男	○中尾 正昭・渡辺 匡・山本 友博・内山 光男 海老原利則
青 少 年 奉 仕	柿 市 高 重	(一般) 岩元 紀彦・古木 圭介・有村 良男
(インターアクト)	久 保 政 次	尾辻 省悟・柴山 一雄・徳田 基・吉田 恵一
(ローターアクト)	高 橋 司	篤 辰雄・米倉 清嘉・後藤 泰久・林 幸光
国 際 奉 仕	木 治 屋 克 己	○橋口 十蔵・岩元 健吉・小山 幸義・瀬戸山勝資
ロータリー財団	池 田 穰	○徳留 栄次・桜美 四郎・小池鉄太郎
ロータリー賞 推せん委員会	藤 安 辰 造	城 哲男・光吉 正昭・山下 静雄 浜田 馨・川田 恵一

## 会 長 あ い さ つ

会 長 河 井 時 義

本年度の会長の職務をとるようになぜられました。不肖の身に支えられた責任の重大さに戸惑っている次第で御座います。会員の皆様の心からの御支援と御協力によりまして当クラブのよき伝統である和やかな友愛、知性にあふれた明るさを生かして一生懸命努めたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

ジャックデビスR I会長のServe to unite mankindは、直前会長のターゲットを一步前進され、ロータリーは会員の社会的地位の故ではなく、その職業を代表するという立場をとって、ロータリーのヒューマニズムの精神を全人類に及ばせと言われたものと解釈されます。

西田DGは、我々のクラブ内に於ける役割は自ら求めたものではなく自然の法則に従って、それぞれ職務を分担して奉仕する機会を与えられたので、私達はこの天の恵みに感謝して再び帰って来ない一日一日を大切に、過ちのない最善の努力を尽す様従湧されました。そして①親睦を深めてクラブの運営を円滑にすること、②友愛の場を拓げること、③奉仕のプログラムを実践する事をあげられましたが、この何れをみても皆さんのロータリーの徳義に立って賛成を頂けることと存じます。

更に本年度は278地区の年次大会を担当すると云う役目を頂きましたが、新福大会委員長柴山幹事を中心として全員一丸となって誠意をつくし、クラブの歴史に輝かしい一頁を加える事が出来ます様、又、会員各位の奉仕にも御満足が頂ける様に期待する心は同じでありますのでよろしくお願い申し上げます。

# 幹 事 あ い さ つ

幹 事 小 園 正 人

幹事に就任して今更乍ら責任の重大さを痛感します。

幹事の任務には、一般会員の方とは直接関係のない色々の外部的、内部的仕事がありますが、幹事の責任を全う出来る様努力すると共に、今後の西クラブの発展に寄与出来る様心がけたいと思います。

なお、本年度は当クラブの創立十五周年に当り、愈々来年四月はホストクラブとして地区大会開催の重大な年であります。地区大会が立派に成功する様全力を注ぐ積りです。



## ク ラ ブ 概 況

- |                  |                       |        |          |
|------------------|-----------------------|--------|----------|
| 1. 創 立 年 月 日     | 昭和38年 3月 23日          |        |          |
| 2. 承 認 年 月 日     | 昭和38年 6月 27日          |        |          |
| 3. チャーターメンバー     | 25名 (内 9名)            |        |          |
| 4. 本年度当初会員       | 退 会 者                 | 0      |          |
|                  | 入 会 者                 | 2      |          |
| 5. 現在会員数         | 正 会 員                 | 67名    |          |
|                  | シニア・アクティブ員            | 21名    |          |
|                  | (計)                   | 88名    |          |
| 6. 平均年令          | 57.1才                 |        |          |
|                  | 最高                    | 82才    | 最低 32才   |
|                  | 20才代                  | 0名     | 30才代 4名  |
|                  | 40才代                  | 20名    | 50才代 26名 |
|                  | 60才代                  | 27名    | 70才代 10名 |
|                  | 80才代                  | 1名     |          |
| 7. 出 席 率         | 95.49% (51.7～52.6)    |        |          |
| 8. 予 算           | 別表のとおり                |        |          |
| 9. 入 会 金         | 25,000円               |        |          |
| 10. 年 会 費        | 130,000円              |        |          |
| 11. ビジター会費       | 1,300円                |        |          |
| 12. 会 報          | 週報を毎週発行               |        |          |
| 13. ロータリアン誌      | 1名講読                  |        |          |
| 14. レビスタ誌        | 1名講読                  |        |          |
| 15. クラブ協議会       | 1回 (あと5回)             |        |          |
| 16. クラブフォーラム     | 4回 (予定)               |        |          |
| 17. 炉 辺 会 合      | 2回 (あと2回)             |        |          |
| 18. 理 事 会        | (定例…毎月第2週 臨時…必要に応じ随時) |        |          |
| 19. 委員長会議        | 1回                    |        |          |
| 20. 会長・幹事会(県下RC分 | 1回(あと1回)              | ・市内RC分 | 1回(あと1回) |

## クラブ奉仕委員会

副会長 藤 安 辰 造

### 業 績

1. 6月31日例会時、6月25日八代に於ける地区協議会でのクラブ奉仕部門の協議会の大略を報告した。
2. 7月7日例会前に第一回委員長会議に於て関係各委員長の方々にクラブ奉仕委員長として御協力を要請した。  
又、例会に於て委員会活動方針を述べ会員の皆さんにクラブ奉仕委員長としての職務と今後の計画を述べ御協力を要請した。
3. 7月21日西ローターアクトクラブと合同のファイヤーサイドミーティングで奉仕部門に関するミーティングをローターアクトクラブ会員を交えて行った。

## 会 計

会 計 前 田 好 文

### 基本方針

昭和52年度 予算総額 14,912,215円

- ① 以上の予算は基定に従って明確に処理し、資金の保管と予算執行には誠実に実施したい。
- ② 理事会に絶えず出席して予算の流動状況を常に把握し、指示に従って運営に協力したい。

### 計 画

寄附金の増大を計り奉仕活動に期待したい。

尚、年度末には公認会計士の監査を予定している。

### 業 績

毎月監査して資産台帳等支障なく整理されている。

## 出席委員会

委員長 池田 広

### 業績

特別に業績とするほどのものはないが、

1. 出席報告後、次回例会日、時刻、場所について変更のある時等、会員に注意をうながすことにしている。
2. 出席規定については、定款8条5節を読むように指示した。
3. 出席不良者には、葉書を出して出席をうながしている。
4. 連続出席者の表彰は例年通り行っている。

## 職業分類委員会

委員長 岡山 栄

### 業績

充填及び未充填職業分類表を8月末日までに作成し、会員に配布した。

作成にあたっては、形式をより分りやすい様に改めると共に、分類の内容を地域社会の実情に合致する様に整理した。

## 会 員 選 考 委 員 会

委員長 桜 美 義 明

### 業 績

当委員会は、推せんされた人の資格と社会的地位を考慮し、ロータリーの奉仕の精神を理解でき、出席可能な人を選考した結果、新入会員として2名の手続きをとった。

## 会 員 増 強 委 員 会

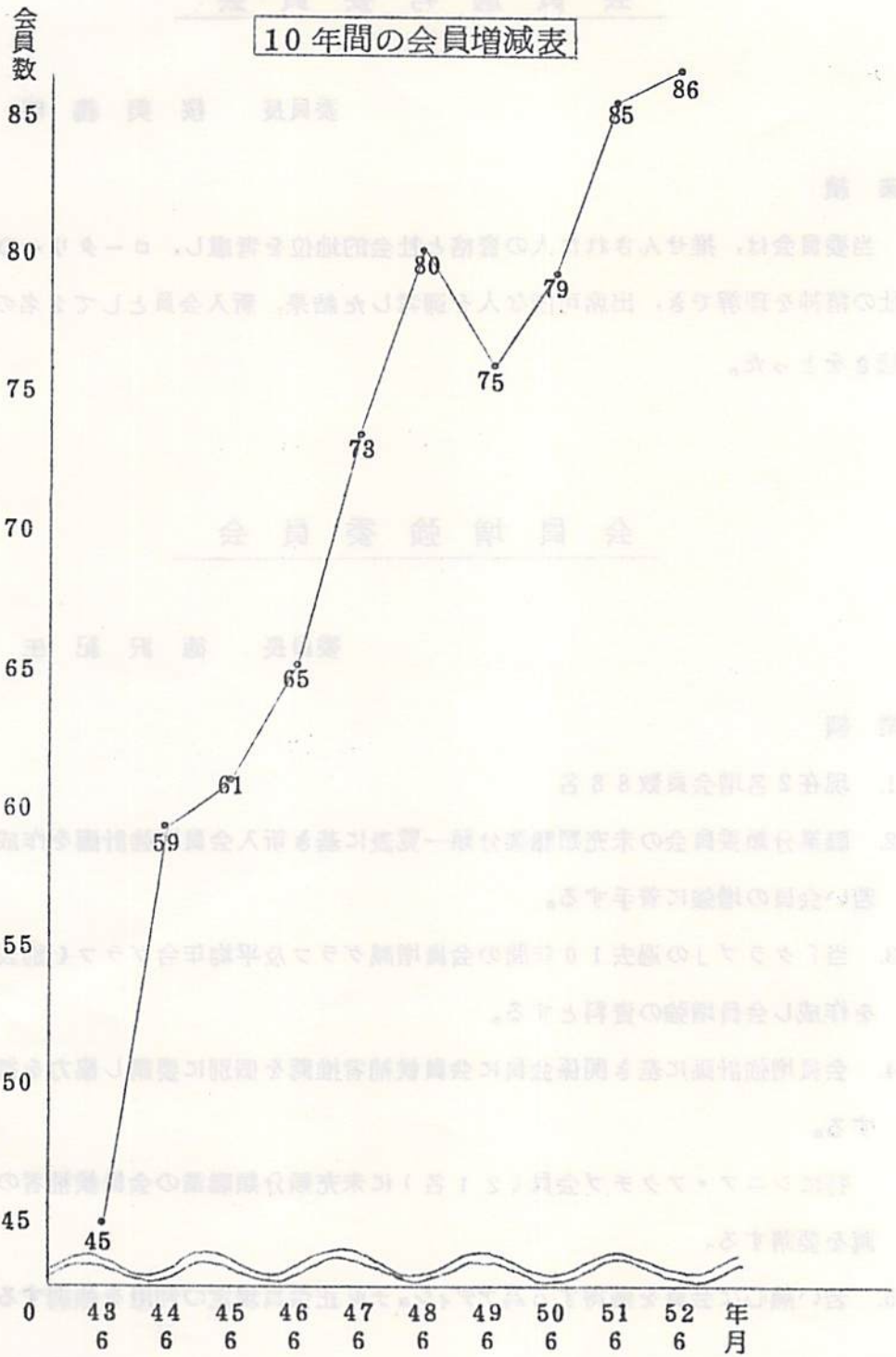
委員長 徳 沢 紀 生

### 業 績

1. 現在2名増会員数88名
2. 職業分類委員会の未充類職業分類一覧表に基き新入会員増強計画を作成し若い会員の増強に着手する。
3. 当「クラブ」の過去10年間の会員増減グラフ及平均年令グラフ（別表）を作成し会員増強の資料とする。
4. 会員増強計画に基き関係会員に会員候補者推薦を個別に要請し協力を御願する。  
特にシニア・アクティブ会員（21名）に未充類分類職業の会員候補者の推薦を要請する。
5. 若い熱心な会員を獲得する為アディショナル正会員規定の利用を強調する。

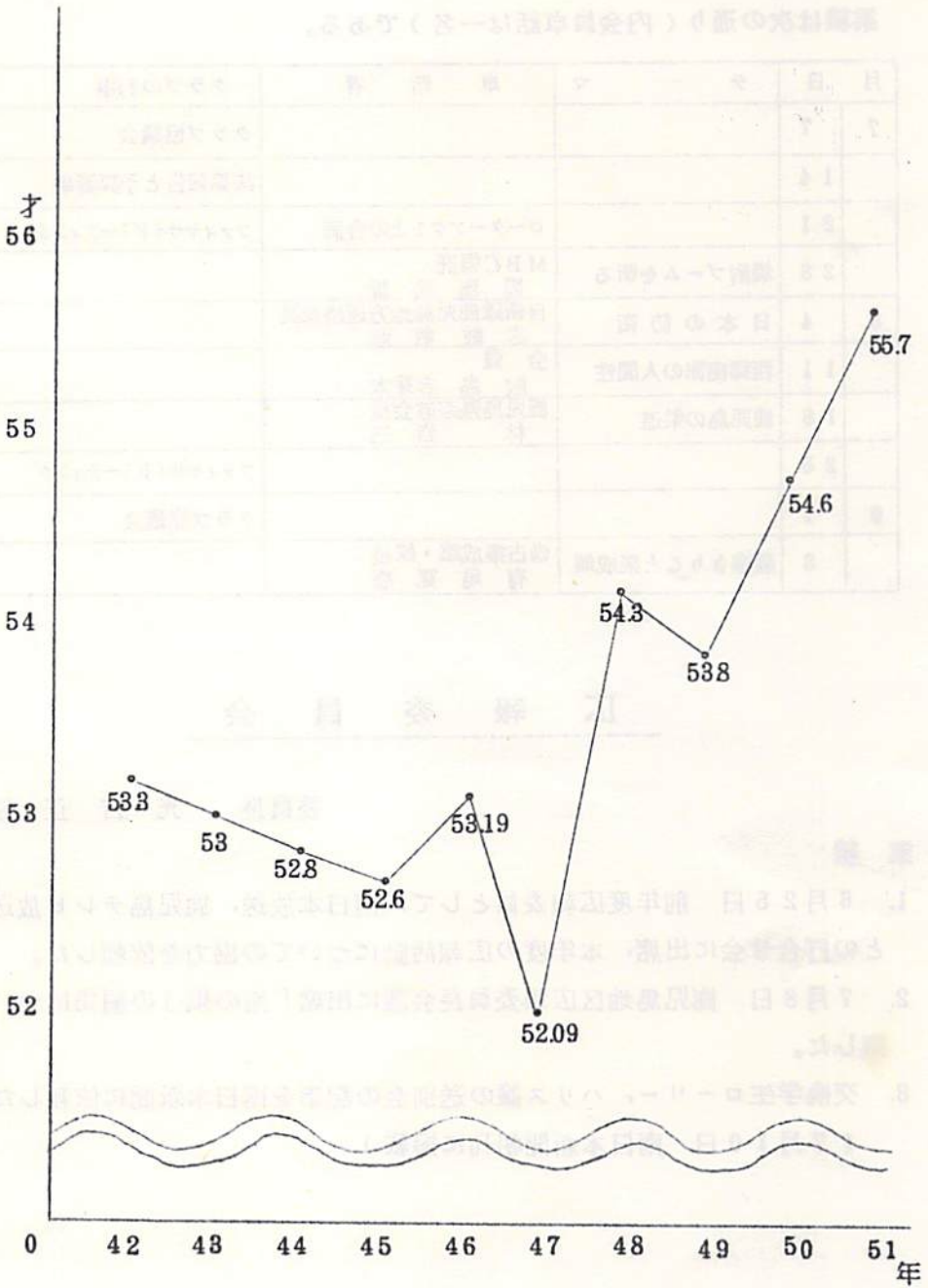
別表1 ( 会員増強委員会 )

10年間の会員増減表



別表2 ( 会員増強委員会 )

10年間の会員平均年齢表



## プログラム委員会

委員長 浜田 肇

### 業績

業績は次の通り（内会員卓話は一名）である。

月	日	テ	マ	卓	話	者	クラブの行事
7	7						クラブ協議会
	14						決算報告と予算審議
	21					ローターアクトとの合同	ファイヤサイドミーティング
	28	焼酎ブームを斬る		MBC囑託		福 満 武 雄	
8	4	日本の防衛		自衛隊鹿児島地方連絡部長		志 岐 毅 彦	
	11	西郷南洲の人間性		会 員		餃 島 志 芽 太	
	18	鹿児島の柔道		鹿児島県柔道会長		林 岩 三	
	25						ファイヤサイドミーティング
9	1						クラブ協議会
	8	薩摩きりこと集成館		尚古集成館・館長		有 馬 寛 慈	

## 広報委員会

委員長 光 吉 正 昭

### 業績

- 6月25日 前年度広報委員として、南日本放送、鹿児島テレビ放送幹部との打合せ会に出席、本年度の広報活動についての協力を依頼した。
- 7月8日 鹿児島地区広報委員長会議に出席「南の風」の編集について協議した。
- 交換学生ローリー、ハリス嬢の送別会の記事を南日本新聞に依頼した。  
(7月10日 南日本新聞朝刊に掲載)

## 親 睦 委 員 会

委員長 近 藤 典 文

### 業 績

新年度2ケ月経過で取り上げるべく実績は出てない。

本年度計画中の

- ① スマイルボックスについてはあくまでも本人の自覚積極の申告を基本方針としている関係上、前年度と比しやや劣るものと思われるが、2ケ月経過を期に委員会で再検討して、スマイルボックスの増大を計りたい。

改善案 ④ 各テーブル毎にスマイルボックスの封筒を設け、会員が気軽に手に取り促出し易い様にする。

- ⑤ 報道機関等に記載又出演された場合積極的にスマイルボックスを出して頂く様会員全員に会場で御願います。

- ② 会員間の親睦について 季節も良くなった折9月中に西クラブの親睦ゴルフ大会を開く予定。9/29は観月会 12月クリスマス家族会等の計画を持っており今後が会員間親睦のチャンスと考え委員一同細部に渡り計画中である。

- ③ 県外ビジターの親睦について 遠く県外からのビジターは公(商)用は勿論南国鹿児島観光も一面あると思われる。会員はそれを機に広く鹿児島をPRすると共にビジターと親しく語り合うチャンスを作る様、特に親睦委員はそのビジターのそばに同席する様努めておるが受付等により今の現状ではそのチャンスを失っているケースが多い。この点を十分検討する必要がある。

⑥ 親睦委員は県外ビジターを席まで案内し側近者に紹介する。



## ロータリー情報委員会

委員長 下野 隆三

### 1. 基本方針

ロータリー情報は会員のロータリー活動の原動力であると云ふ観点に立ってロータリーの歴史、綱領、標語、組織等その基本的なものと共に新しい情報を全会員に伝達する。

### 2. 計 画

(1) 新入会員に対しては特にロータリーを早く理解してもらうように、その入会前後にロータリーの基本についてよく説明する。

(2) プログラム委員会と相談し、年間の予定表に従って下記事項を実施する。

(イ) 毎例会に三分間情報の時間を設けてもらってロータリーの基本的なものや新しい情報について卓話する。

(ロ) 時折の例会においてロータリーの諸問題について30分間の卓話をする。

(ハ) 〇〇週間の行事としては、それぞれの委員会で勉強してもらってその結果を卓話してもらう。但し、創立記念日の卓話は情報委員会が担当する。

3. 新入会員の方のみの炉辺会合を開き又、一般の炉辺会合やクラブフォーラム等には必ず出席して(ロータリー情報委員が)情報の徹底を期する。

4. 上部会合に全会員就中新入会員の出席を従湧する。

## 会報・雑誌委員会

委員長 川田 恵一

### 業 績

- (1) 卓話の予告及び卓話の要旨を週報にのせている。
- (2) ロータリー情報に関する記事或いはロータリー教育に寄与する記事を週報にのせた。
- (3) ロータリーの友を読む事を会員に奨励した。
- (4) ロータリーの友誌を、インターアクトクラブ・ローターアクトクラブへ贈呈している。
- (5) 欠席者への週報配布は従来どおり袋に入れて準備しておき、例会出席の際受取ってもらう様にした。

## S. A. A 委員会

委員長 川畑 正美

### 業 績

1. 年度初めのため、主として委員会別の座席配置を実施し、各委員会毎の親睦奨励に努めた。

その他については、目下検討中であります。

## 職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 山下 静雄

### 業 績

1. ローターアクトに職業倫理向上のために努力したロータリーの70年間の歩み(「経済倫理への挑戦」)を卓話し、「四つのテスト」のポケット判と「職業奉仕に活力を与える」を配布し、その活用を勧誘した。
2. 例会で職業分類談話を実施する準備をすすめている。
3. 国際ロータリーが刊行した職業奉仕に関する文献を整理し、不足するものを購入整備した。
4. 県庁の主脳部(知事以下部課長以上)に「四つのテスト」を中心とする卓話をなし、職業奉仕の精神の普及に努めた。
5. 「奉仕こそわがつとめ」をクラブで共同購入し、その学習を勧奨する。
6. 鹿児島経済大学のセミナーに「四つのテスト」を導入して人間形成への適用のしかたを探求してみたい。
7. 鹿児島経済大学の学生に「経済倫理への挑戦」という特別講義をなし、ロータリー精神の普及を計りたい。
8. 九州教育学会に「経済倫の向上に挑戦する人々」に関する研究発表を行い、併せてロータリー精神の普及を計りたい。
9. 後期に職業奉仕賞を実施するつもりである。

# 社会奉仕委員会

重 商 市 研 究 員 会

委員長 城 哲 男

## 業 績

今年度に入って未だ時日を経ていないので、業績として見るべきものはありません。よって本委員会の活動方針を述べて、御指導を仰ぎたいと思います。

### 1. 基本方針

従来からの基本方針を堅持し、地域社会における奉仕活動を積極的に推進し、かつ実践する。他の各奉仕委員会と協力して地域社会における問題点をとらえて社会奉仕活動を推進する。

### 2. 計 画

- (1) 職業奉仕委員会と協力して職業奉仕の理念を徹底せしめるような方策を考える。
- (2) 国際奉仕の方針に沿うような運動に協力する。
- (3) 青少年奉仕委員会と協力して奉仕活動をテーマにした対話集会を継続する。
- (4) 交通事故防止運動に積極的に参加する方策を考える。
- (5) 難病対策の必要性を地域社会に理解せしめるような方策をとる。
- (6) ロータリー賞を継続する。

# 青少年奉仕委員会

委員長 柿市高重

## 業績

### I) RAC関係

① 早朝清掃と施設訪問(毎月第1日曜日)

7/3 : RAC(20名)+RC(10名)=30名{愛の聖母園訪問}

7/31 : RAC(15名)+RC(8名)=23名{ " }

{8月6,7日(第1日曜)はRAC-夏期キャンプの為くり上げて7/31日行った。}

② RAC(夏期キャンプ)

8/6~7:海潟海岸(参加者24名 天候に恵まれたが降灰に悩む。大いに親睦が深まる)

③ RAC-県内連絡協議会

8/21 : (鹿屋市新公民館), (RAC=24名+RC(13名))=87名

① RAC-OBの取扱

② RAC-会員増加の方法

③ RAC-273 地区大会について

### II) IAC関係

① IAC-県内連絡協議会(7/2 於鹿児島局扱)

○ RC(7名)+IAC(20名)+教官(5名)

② 8/6,7 IAC-273 地区大会出席

RC(2名)

IAC(20名)

教官(2名)

鹿高(15)

鶴丸(5)

## 国際奉仕委員会

委員長 木治屋 克己

### 業績

1. 国際青少年計画の一環として、今年も交換学生スーザン・ウッドマンシー嬢を米国ワシントン州ベルビュー市から池田穰会員宅をホストファミリーとして迎えることができました。

アジアの歴史に興味をもち、サッカーもやるというとても明るいお嬢さんで毎週例会日ごとにテーブルを変えて全会員との親睦をはかりたいと思います。

2. 世界理解週間に因んで鹿児島大学留学生を例会に招き、スピーチや派米交換学生山内里美さんにアメリカでの一年間をスライド等を交えてはなしをいただくことにしております。

## ロータリー財団委員会

委員長 池田 穰

### 業績

今までの処実績として上げるものはありませんが、計画に従い百万\$食事を

#### 1回実施

1,400%クラブを目標に計画通り実行いたします。

会 員 登 告 事 項 欄

日 本 米 穀 協 会 会 員 登 告

第 一 号

一、本会が発行する「米穀」は、米穀関係の重要な情報源として、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に広く利用され、米穀関係の発展に大きく貢献している。

二、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等と密接な連絡をとり、米穀関係の発展に努めている。

三、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

四、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

五、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

六、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

七、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

八、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

九、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

十、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

会 員 登 告 事 項 欄

日 本 米 穀 協 会 会 員 登 告

第 一 号

一、本会が発行する「米穀」は、米穀関係の重要な情報源として、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に広く利用され、米穀関係の発展に大きく貢献している。

二、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等と密接な連絡をとり、米穀関係の発展に努めている。

三、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

四、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

五、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

六、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

七、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

八、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

九、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

十、本会は、米穀関係の各機関、各団体、各企業等に、米穀関係の最新情報を提供し、米穀関係の発展に努めている。

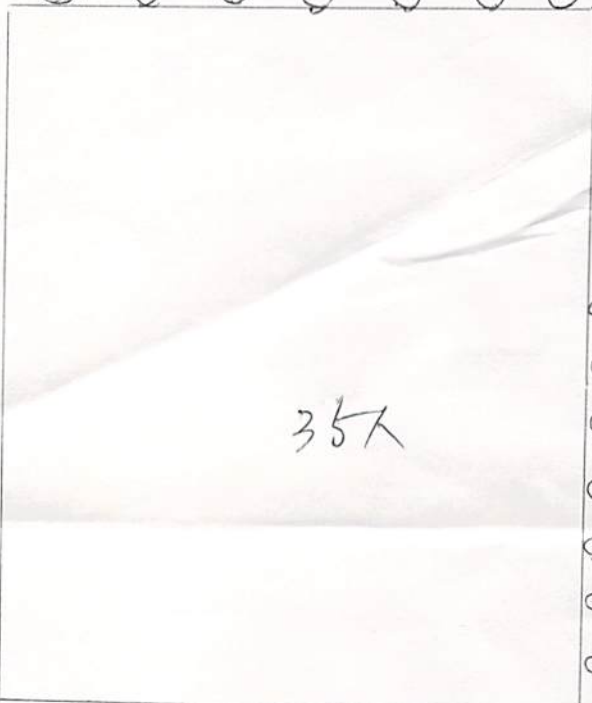
S 54. 10. 24.

井上がバー公式訪問

クラブ協議会

光吉 ○ 副幹事  
 柴山 ○ 副会長  
 金原 ○ 幹事  
 井上 ○ 会長  
 川上 ○ 幹事  
 中村 ○ 会計

高井 ○  
 林 ○  
 谷口 ○  
 土橋 ○  
 藤 ○  
 海老原 ○  
 渡辺 ○  
 岩田 ○  
 水潤 ○  
 藤安 ○



35人

○ 田原道  
 ○ 池田広  
 ○ 久保  
 ○ 吉留  
 ○ 河井  
 ○ 中尾  
 ○ 瀬山  
 ○ 下田平  
 ○ 山口  
 ○ 山下(皓)  
 ○ 杉美(義)

○ 城  
 ○ 中村(清)  
 ○ 岩元田  
 ○ 徳田  
 ○ 徳沢  
 ○ 幸泉  
 ○ 柿市